



たくさん 読もう！



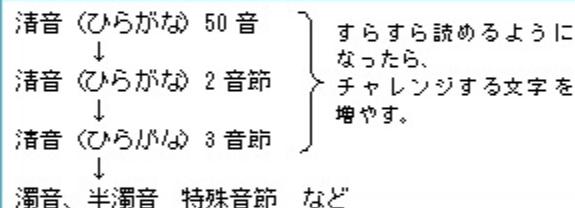
ある女の子が、ひらがな学習を通して清音50音読めるようになりました！さて、次は特殊音節やカタカナの指導へとレベルアップを目指したいところですが、「き・の・う・は、お・と・う・さ・ん・と…」というように、文を読むのにとても時間がかかるようです。どうしたら良いのでしょうか？？

実は清音（ひらがな）を使って、2音節「うし」や3音節「はさみ」等のような単語を、ぱッと見て読めなければ、文章を読むことも難しくなります。

文字の固まりとして単語を素早く読めることが、読み速度を上げる基本です。

清音が読めるのに、特殊音節がなかなか習得できない子や文章を読むのに時間がかかってしまう子どもには、初期の「読み経験の不足」が影響していると考えられます。

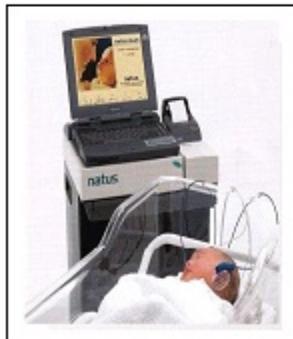
将来、本や物語を楽しむための読解力を伸ばすために、子どもの発達に応じて、単語などもたくさん「読む」経験をさせることが大切です。
（逢野）



エー・エー・ピー・アール

オー・エー・イー

AABR? OAE? こりゃなんだ?



本校の入学時の調査票を見ると「AABR」「OAE」と書かれていますが、ご存知ですか？

これらは「新生児聴覚スクリーニング」と呼ばれるもので、生まれて間もない赤ちゃんを対象に聴力の異常を調べる為に行なう検査です。AABRとOAEという2つの種類があり、病院により置かれている機械が違います。「(聴力の)反応あり」と出ても異常のあるケースがまれにあったり、その逆のケースがあったりすることがあります。出産後すぐの家族の心理的な影響やその後の療育の場などさまざまな課題がありますが、難聴の早期発見、早期療育の為の重要な検査です。

この検査で異常が出た場合「ABR」等の精密検査をします。和歌山県では任意有料の検査ですが、日本の新生児の60%程度が受けていると言われています。
（中本）